

私たちの防災・住まい・まちづくりを考える …フクシマの被害・生活再建から学ぶ…



3月11日、東日本大震災から半年が経ちました。いまだに避難所生活が続き、悲惨な暮らしをしています。また、原発事故の収束のメドがたらず不安な状況になっています。

地震・津波は天災ですが原発・公共サービス低下などは人災であり、被害と復旧の遅れを増大しています。このような被害と復旧状況から見えてくるもの、その教訓を学び、私たちの身近かに大震災が起きた時の備えとしたいと思います。震災に強い住まい・福祉・まちづくりを考え、原発ゼロの世論を広げるため、ぜひご参加ください。

講師 鈴木浩 福島大学名誉教授
(元福島県復興ビジョン検討委員会座長)

●鈴木浩さんのプロフィール

1944年生。1967年東北大学工学部建築学科卒。設計事務所勤務後、ロンドン大学などを経て、1990年福島大学行政社会学部教授。社会活動は、福島県総合計画審議会会長、墨田さわやかネット理事長、女川町復興計画策定委員会会長。著書、「地域計画の射程」(編著、八朔社、2010年)など多数。



津波で壊滅的被害をうけた陸前高田市



建築中の木造仮設住宅(いわき市)

開催：11月19日(土)

開場：午後1時30分

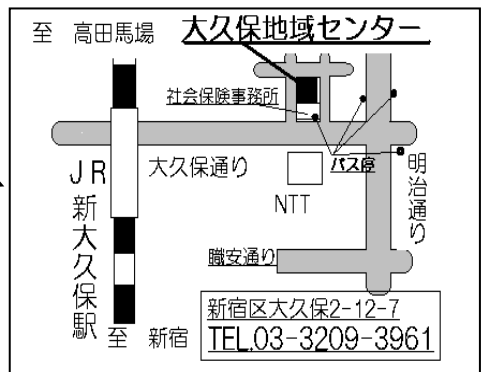
開会：午後2時

(閉会：4時30分予定)

**会場：新宿・大久保地域センター
3階A会議室**

(新大久保駅徒歩8分)

参加費：1,500円



●主催/NPO 法人建築ネットワークセンター

連絡先 ☎ 03-5386-0608 ・ FAX 03-5386-1065

メールアドレス kenchiku@d2.dion.ne.jp

●後援/国民の住まいを守る全国連絡会 (東京土建、日本住宅会議、新建など17団体が加盟)